

# 小さくても東になれば、世界で戦える！

## (株式会社 試作サポーター四日市)

### 会社概要(平成23年12月現在)

- 所在地:三重県四日市市安島1丁目3-18  
研究室:IH応用機器研究室  
(四日市市塩浜 高度部材イノベーションセンター内)
- 代表者:代表取締役社長 仲井 聖憲
- 資本金:800万円
- メンバー企業数:16社
- URL:<http://www.shisaku-y.jp/>

### ①事業概要

#### < IH加熱応用機器製造・販売 >

試作サポーター四日市は、四日市のモノづくり企業16社の出資で設立し、各社のもつ技術力・開発力を活かし幅広いモノづくり、開発を行っている。

IH加熱技術を応用発展させ、加熱だけでなく、殺菌や反応など幅広い分野での応用機器の開発・製造を行う。また、他地域、他分野との連携を積極的に行い、企業群多地域連携組織「Monozukulink.net」の立上げに参加し、新たな仕組み作りを行っている。

平成21年11月、四日市機械器具工業協同組合の情報収集と勉強会から、任意団体として14社で設立後、開発・試作を軸として現在の16社で出資を募り、株式会社試作サポーター四日市として、今年法人化した。

事業の一部門としてIH開発委員会を開始、国内だけに留まらず、「IH技術海外市場開拓プロジェクト」がスタートした。

IH技術の当初は、食品関連向けが主体であったが、現在では自動車関連、化学、繊維、医療でのニーズも増えている。IH製品の試作を進めることで、CO2削減、電力削減、省スペースとして社会貢献にも寄与できる。

同社は試作サポーターを窓口として、16社の持つ技術力、開発力、幅広いノウハウを生かして、幅広いものづくり、開発を行っている。

また、平成23年にJAPANブランド育成事業の採択を受けている。

### ②海外展開概要

#### <アメリカへの販路開拓>

米国在住の日系コンサルタント会社2社へ委託して、ターゲットとなる客先を絞るための市場調査を実施している。海外でのIHの市場調査を行い、ニーズを発掘し、あらたな製品開発における試作ニーズについて、商談のチャンスを獲得していく。

### ③取組の重点(活用した支援策を含む)

一社での展開は難しいが、グループで協力して行うことで、マンパワー、資金負担の課題解決が可能となり、開発という創造的な業務を可能とする。

また、それぞれの得意分野を有効的に活用でき、グループ内で一貫生産ができることが強みとなる。

### ④今後の事業展開について

IHの普及・啓蒙を通じその効果を理解してもらうための活動をアメリカで始めて開始している。

電力コストが安いアメリカでIH技術を普及啓蒙することは難しい面もあるため、IHの効率・効能を啓蒙しながら、ニーズを開拓していく。

#### ラボ.IH反応装置

# IHR



高い安全性と  
省スペース・  
省メンテナンス。  
更に高精度な  
データ収集が可能な  
攪拌機を搭載



#### ラボ. IH反応装置「IHR」

加熱精度の高いIH(電磁誘導加熱)を応用した化学・医薬・食品産業等の研究開発に適した卓上サイズのIH反応装置

(平成23年12月現在)

データ出所: 中部経済産業局